

第12回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

神経回路網の形態と機能解析における 歴史からその応用まで

演者: 萩原 明 先生

東京理科大学 創域理工学研究科 生命生物科学科 准教授

日時: 2023年7月7日(金)13:00~14:00
葛飾キャンパス講義棟 403教室

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。→



外界の情報を感知し、それらを統合して、行動としてアウトプットする脳の機能は、神経細胞間の情報伝達によって調節されています。神経解剖学の基礎を築いたカハールらの観察から約100年、蛍光タンパク質GFPの発見や分子生物学の発展により、神経細胞の観察法は多様になってきました。2007年に発表されたBrainbowマウスの開発や、さらにウイルスベクター法を用いた、最新の神経細胞の標識法などを紹介します。また、脳の機能調節には、神経細胞同士の情報伝達による神経回路網が重要であることが分かってきました。情報伝達部位であるシナプスを電子顕微鏡によって観察し、回路網を解析するコネクトミクス法に関しても合わせて紹介していきます。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足した脳学際研究部門 (BIRD) をより発展させるために2021年度に設立された新しい部門。学内の工・先進工・理工・薬学部・生命研および学外の研究機関から構成される。

本講演は公開セミナーです。他大学からの参加の場合は世話人までご一報ください。

ZoomミーティングID: 916 8923 0894/パスコード: 730004

世話人: 先進工学部生命システム工学科 瀬木 (西田) 恵里 eri.segi.nishida@rs.tus.ac.jp

